

<対策のポイント>

酪農経営における飼養規模の拡大等による環境問題に対処するため、ふん尿の還元等に必要な飼料作付面積の確保を前提として酪農家が行う環境負荷軽減の取組（資源循環促進、地球温暖化防止、生物多様性保全等）を支援します。

<政策目標>

酪農に起因する環境負荷の軽減

<事業の内容>

1. 環境負荷軽減型酪農経営支援事業

- ふん尿の還元に必要な飼料作付面積を確保しながら環境負荷軽減に取り組んでいる酪農家に対し、飼料作付面積に応じて交付金を交付（ア）します。

また、有機飼料生産の取組に交付金を追加交付（イ）します。

① 対象者の要件

- ・ 飼料作付面積が北海道で40 a / 頭以上、都府県で10 a / 頭以上
- ・ 環境負荷軽減に取り組んでいること（9メニューから選択）

② 交付金単価

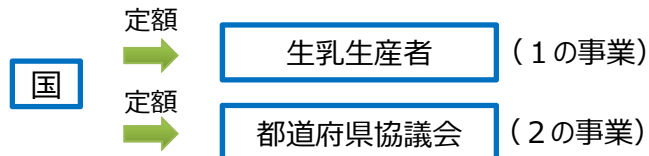
ア 飼料作付面積 1.5万円 / 1 ha

イ 有機飼料作付面積 1.5万円 + 3万円 / 1 ha（追加交付）

2. 環境負荷軽減型酪農経営支援推進事業

- 環境負荷軽減型酪農経営支援事業の実施のための推進活動、要件確認、事業効果の測定等に必要な経費に対して補助します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

目的	取組メニュー
資源循環促進	① 堆肥の適正還元の取組
	② 国産副産物の利用促進
	③ スラリー等の土中施用
	④ サイレージ生産の適正管理
地球温暖化防止	⑤ 温室効果ガス放出量削減の取組
	⑥ 化学肥料利用量の削減
	⑦ 連作防止の実施
	⑧ 放牧の実施
生物多様性保全	⑨ 農薬使用量の削減



有機飼料生産の取組（追加交付）

- 取組メニューごとに効果を測る指標を設定し、取組実績に応じた効果を測定
- 生産者は、効果の測定に必要なデータを提出  
例) 堆肥施用量、放牧日数、農薬使用量等

【お問い合わせ先】生産局畜産企画課（03-3502-0874）